

“ふじのくに” 士民協働事業仕分け結果（事業別個表）

事業番号	9	事業名	中山間地域農業基盤整備事業費助成
------	---	-----	------------------

1 基本情報

実施日／班名	10月15日 第2班	時間	14:03～14:54
担当課名	交通基盤部 農地保全課	事業費	9,000千円

2 判定結果

仕分け結果		県民評価者判定内訳(人)					
県実施 (一部見直し)	判定区分別	行政関与不要	3				
		行政関与必要	⑮	国・市町実施	2		
				県実施	⑬	抜本見直し	3
						一部見直し	⑥
	現行・拡充	4					
判定理由別	仕分け結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由内訳(人、複数回答有)						
		・県の役割(市町、関係団体、県民等との役割分担)を見直すべき		3			
		・事業効果の把握・検証方法や目標の設定方法を見直すべき		3			

3 具体的な見直し・改善策又はその他意見

<p><行政関与不要></p> <ul style="list-style-type: none"> 中山間地域を都市部に集約化して、税金を効率的に使う方向へ変えていくべき。 今後、中山間地域には将来的な生産性が見られないし、今後、若い人たちがそこへ定住していくのは無理がある。少人数のために税金を使うのはどうかと思う。 <p><県実施(抜本見直し)></p> <ul style="list-style-type: none"> 農業生産基盤の強化(お茶、シイタケ、お米、果物)の必要性があると思う。浜松市北部に住んでいるが、中山間地の支援を受けて、大変ありがたい。もう少し助けてほしい。我々の地域に大変な事業があることに驚くべき。 事業番号8と分けて事業をする必要性があるか。補助金として実施しているが、この事業に使われているかをチェックする機構を設けたほうが良い。 平成2年からの事業で効果が出ていない(ほとんどの地区で人口の減少が見られる)。手段・方法を見直すべきだと思う。 中山間地域と平地とを分ける理由は何か？農業従事者の受ける恩恵は平地も山も平等であるべきだと思う。新たに開拓するわけではないから。 <p><県実施(一部見直し)></p> <ul style="list-style-type: none"> 予算が減少している中で、単独事業として必要か。それより他の事業と併せて総合的にやった方がいいのではないか。 事業を実施しても人口が減っているようでは、その事業は本当に必要だったのか分からない。
--

- ・ 市町村でできることもありそうなので、調整が必要だと思う。
- ・ 平成 2 年から実施しているので終期を定めるべき。兼業農家としてお茶を生産している者として、課長さんが「本県のお茶が」と話されたことにうれしく思った。これからもおいしいお茶作りにがんばります。
- ・ 中山間地に人を呼ぶのは、道とその地域の特色だと思う。道だけでも、特色だけでもだめではないかと思う。

<県実施(現行・拡充)>

- ・ (資料p70最下段)「これまでの改善・見直しの状況」欄に記載されていることを含めて、事業進捗の途中見直しや新たな思考をしており、素晴らしい展開に期待する。
- ・ 山間地区では公共事業(農道整備や治山工事)が最大の産業と思う。この事業がないと山間地の集落はなくなると思う。茶の収入だけでは生活は無理と思う。
- ・ 弱者救済的な感じがする。金額が小さいので、この程度は良しとしたい。